

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

しずおかこだわりの家

グループの名称

静岡いい家プロジェクト

直近採択グループ番号

06-0403-0426

(グループ代表者)

代表者名

工藤 公彦

代表者印

代表者所属先

工藤一級建築士事務所

代表者所在地

静岡県静岡市葵区井宮町

代表者電話番号

054-273-7341

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社日建

事務局担当者名

松嶋 孝明

印

事務局郵便番号

420-0934

事務局所在地

静岡県静岡市葵区岳美15-43

事務局電話番号

054-247-6411

事務局FAX

054-247-6474

事務局担当者E-mail

nikken-6474@fine.ocn.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	しずおかこだわりの家
2. グループの名称(必須)	静岡いい家プロジェクト
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0403-0426
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県6地域
5. 結成年(必須)	2016 年
6. グループ代表者名(必須)	工藤 公彦
7. グループ代表者の所属先(必須)	工藤一級建築士事務所
8. グループ代表者所在地(必須)	静岡県静岡市葵区井宮町
9. グループ代表者電話番号(必須)	054-273-7341
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社日建
11. グループ事務局担当者名(必須)	松嶋 孝明
12. グループ事務局郵便番号(必須)	420-0934
13. グループ事務局所在地(必須)	静岡県静岡市葵区岳美15-43
14. グループ事務局電話番号(必須)	054-247-6411
15. グループ事務局FAX番号(必須)	054-247-6474
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	nikken-6474@fine.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	7	
II. 製材・集成材製造・合板製造	13	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	6	
IV. プレカット	6	
V. 設計	5	
VI. 施工	13	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)	国内・国外		
			番号記入欄		
A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材	3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材	2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材	2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する	国産材	2	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材	4	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材	4	国外	
	しずおか優良木材	静岡県	静岡県産材証明制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		6	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		6	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		8	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		8	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	3棟					
				1800㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟					
				0㎡					
?事務局への申請順。 ?申請が同一日の場合は抽選。 ?ゼロ・エネルギー住宅については、UA値・削減率等の数値が、より高性能な住宅を優先する。									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しずおかこだわりの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県6地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 静岡いい家プロジェクト	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0403-0426	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	大型の地震が予測される地域の為、地震対策として、耐震性を重視する。 年間を通じて気温が高く、湿度も全国平均を上回っている地域性を考慮し、断熱性能、調湿性能を高める。 夏、高温及び日照率が高い地域性を考慮し、開口部の断熱性を重視する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	台風・地震双方に強い軽量瓦の採用を推奨する。 地震対策として耐力面材の採用を推奨する。 調湿効果のある下地材、内装塗り壁材、タイルのいずれかを採用する。 地産材を躯体の一部もしくは羽柄材に採用する。 断熱性能の高い複層サッシを採用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	間取りの中に収納スペースを設け、倒壊の恐れのある家具などを極力設置する必要のないデザインを推奨する。	◎
④①～③の背景	耐震性について: 東海地震の起こる可能性が高い為。 断熱性について: 温暖な気候故の夏季の日射対策が課題とされている点や、断熱性能への無関心に起因するヒートショックが問題視されている為。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	事務局より、住宅の引き渡し時に倒壊防止用の家具ロックを支給する。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様書を作成し、寸法の規格化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様書を作成し、建材仕様を統一する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 長寿命型、高度省エネ型それぞれの標準仕様を設定する。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 標準仕様に基づき、建材・資材の共同調達を行う。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 統一書式に用いて資材を調達し、調達事務の合理化を行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 生産合理化検討委員会を設置し、生産の合理化に向けた検討会を行う。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 生産合理化検討委員会における検討会の開催サポート及び資材の調達。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 瑕疵保険法人の設計施工指針に基づいた施工基準を設ける。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 瑕疵保険法人のチェックシートに基づいた検査を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 見積明細を細分化する。メーカー・定価等の分かるものは必ず記載する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構造見学会・完成見学会を行いグループの標準仕様をPRする。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: モデルの労働カレンダーを事務局で作成し、構成員に配布する。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能や経験に基づいた施工者、職長の表彰制度の導入を推奨する	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員の社会保険のコピーを、事務局で保管する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各構成員の経営職・管理職に向け、事務局が主催・共催又は協賛する労務管理のためのセミナー受講を推奨する。また現場毎の安全確認チェックシートの提出を義務づけ、健康診断に加え、労働災害防止の為にセミナーを行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しずおかこだわりの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県6地域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡いい家プロジェクト	(結成年) 2016年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0403-0426		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: クラウド型の住宅履歴情報蓄積システムを使用する。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: いえかてで正会員である第三者機関に情報を蓄積する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局、施主、施工者が共通IDを用いて相互にアクセスし直接確認する。	◎
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ独自のメンテナンス計画に基づき点検を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループ独自のメンテナンス基準に基づき補修を行う。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: いえかてでの点検結果チェックシートの登録状況を年2回確認する。	◎
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局主催で住宅のお手入れ勉強会を施主向けに行う。	◎
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅購入者を対象とした工具の安全な使い方セミナーを事務局主催で半期毎に行う。	◎	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅購入者を対象とした水廻りのお掃除・お手入れ勉強会を半期毎に行う。	◎	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、共通ルールに基づいた点検・補修の実施状況をチェックする。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 住宅購入者へ引き渡し毎に住宅メンテナンスの図書をお渡りする。	◎	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が住宅蓄積情報システムを活用し、別構成員が継承するよう斡旋し維持管理を継続する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局主催の勉強会を実施し、構成員の住宅瑕疵に対する理解を深める。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局主催で施工指導の研修会を座学、実習共に定期的に行う。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各使用建材メーカーの施工技術研修会を定期的に行う。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工者ごとに各現場の施工写真を撮影し、共通ルールと相違無いか確認する。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 全構成員が「しずおかこだわりの家」を供給する為の需給計画を策定する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 未経験工務店が「しずおかこだわりの家」を供給する為の施工販売技術向上計画を策定する。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 構成員の業種別に勉強会を開催し、合理化を図る。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 12
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 9	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 未講習の構成員を把握し、開催日の連絡をし、参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 制震金物の導入を図る。	○
	② 新たな技術等の開発	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しずおかこだわりの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県6地域												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡いい家プロジェクト	(結成年) 2016年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0403-0426													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	静岡県土の64%を占める豊富な森林資源活用のため静岡県産材を推奨する。 主要構造材はKD材もしくは集成材を使用する。												
②	地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【代表的な地域材の流れ フロー図】</p> <p>合法木材証明制度・静岡県産材証明制度</p> <p>※代表的なフロー図のため例外的に異なる場合がある。 ※I 原木供給事業者やII 製材・集成材・合板製造事業者が海外にあるため一部I 原木供給事業者II 製材・集成材・合板製造事業者の登録を行っていない。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材流通業者と連携し地域材在庫把握を行う。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が木材流通業者と連携し、グループ内で地域材価格の情報共有を行う。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が着工予定数を取りまとめ地域材の供給予測を行う。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 30枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 20坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 15枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 静岡伝統の家具文化・竹細工を取り入れ、グループ内コンテスト・表彰を行う。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	被災地域の建築資材を利用する。	◎												
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) しずおかこだわりの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県6地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 静岡いい家プロジェクト	(結成年) 2016年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0403-0426	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【高度省エネ型の特徴】

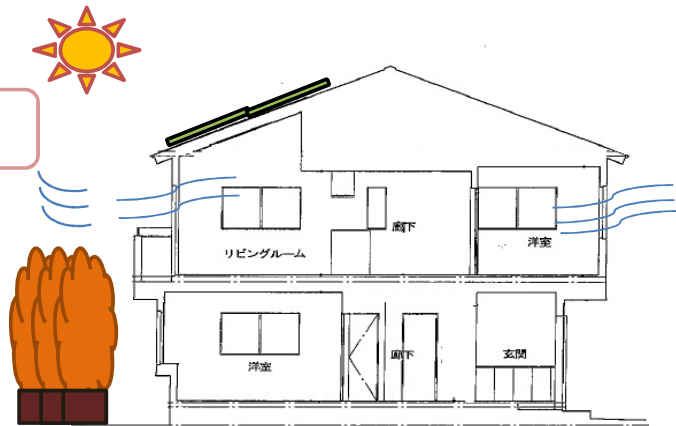
①認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅について

- ・使用する木材に静岡県地域材を使用する。
- ・日射量が全国上位という特色を活かし、自然エネルギーを活用した創エネルギーよりも省エネルギー重視の住宅を供給する。
- ・節水トイレ・節水水栓などの節水機器を設置する。
- ・省エネルギー性重視の見地から、HEMSの導入を推奨し、引き渡し後の居住者の省エネルギー生活を後押しする。

②ゼロエネルギー住宅について

- ・①の特徴を踏襲するものとする。
- ・太陽光発電システムの設置容量を極力減らす事で、建物価格の上昇を防ぎ、かつ省エネルギー性重視の住宅を供給する。
- そのため、ゼロエネルギー住宅においては「UA値0.58以下」「Ro値を26%以上」とする。
- ・建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)を採用し、住宅性能の向上を目指す。

調湿・通風・日射に配慮した、
快適な住宅を供給する。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。